

承認	議長	副議長	事務局長	次長	合議	担当
					 	

様式第1号

2025年11月21日

真庭市議会

議長 長尾 修 様

真庭市議会議員 奥 侑樹



~~調査研究、研修会、要請・陳情活動届~~

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先
・愛媛県立長浜高等学校
・F C 今治高校 里山校

3 内 容
市内高校の再編整備を踏まえ、特色ある教育活動の先進事例（長浜高校の水族館部運営、FC今治高校の実践型カリキュラム等）を学ぶため。

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要



（注）複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

視察行程表

1. 視察日時：令和8年(2026年)1月19日(月)～1月20日(火)

2. 視 察 者：真庭市議会議員 奥 侑樹

3. 詳細行程

月日	時刻	行程内容	移動手段	備考
1月19日(月)	10:00	自宅 発	自家用車	
	15:00	愛媛県立長浜高等学校 着		視察開始
	17:00	愛媛県立長浜高等学校 発	自家用車	
	18:00	松山市内 着		宿泊：天然温泉石手の湯 ドーマーイン松山
1月20日(火)	11:00	松山市内 発	自家用車	
	13:00	F C 今治高校里山校 着		視察開始
	15:00	F C 今治高校里山校 着	自家用車	
	19:00	自宅 着		

4. 宿泊先

施 設 名：天然温泉 石手の湯 ドーマーイン松山

住 所：〒790-0004 愛媛県松山市大街道2丁目6-5

電話番号：089-934-5489 (代表)

報 告 書

2026年1月23日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 奥 侑樹



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究→研修会→要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 2026 年 1 月 19 日 至 2026 年 1 月 20 日
2 場 所	・愛媛県立長浜高校（大洲市長浜地区） ・FC 今治高校里山校（今治市）
3 用 件	地域における学校を核とした地方創生・教育再生の先進事例調査研究を通じ、今後の真庭市政運営及び地域課題解決に資する知見を獲得することを目的とする。
4 概 要	（１）愛媛県立長浜高校（水族館部） 少子化による学校の空き教室を地域の歴史的資源（旧町立水族館）と結びつけ「校内水族館」として再構築した事例。生徒は水族館の運営（接客、駐車場係）や科学的探究（クラゲ予防クリーム「ジェリーズガード」の社会実装）を通じて、実践的な課題解決能力を身につけている。また、学区外・県外生徒の単身生活を、地元企業の社員寮提供や古民家シェアハウス化など、地域全体でサポートする体制が構築されており、「地域みらい留学」による全国からの生徒誘致を成功させている。成功の要因として「キーパーソンが存在」「地域資源の有効活用」「地域社会の熱意とサポート」の３要素が揃っていることを確認した。 （２）FC 今治高校里山校 プロサッカークラブ FC 今治を核に、岡田武史元サッカー日本代表監督の哲学に基づき、自ら判断し仲間を巻き込む「キャプテンシップ」の育成を目指すオルタナティブ教育モデル。一般的な



学習指導要領の最低限（74 単位）まで座学を削り、空いた時間を「探究」や「HDP（ヒューマンディベロップメントプログラム）」に充てる大胆なカリキュラムを編成。教職員を「コーチ」と呼び、水平な関係性の中で生徒の主体性を促す。FC 今治のスポンサーネットワークを活用した企業連携による実装型探究活動や、ホームゲームでのボランティア活動など、地域全体を学びのフィールドとするエコシステムが優位性となっている。

5 所 感

今回の視察では、二校に共通して「学校を地域の核とする」という揺るぎない理念と、それを実行するキーパーソンの情熱を確認できた。愛媛県立長浜高校は、少子化という逆境を地域の歴史的資源と結びつけ、地域社会の熱意あるサポートを得て再生した成功事例である。特に、学区外生徒の生活を地域全体で支える体制は、真庭市における学校存続策として重要だ。一方、FC 今治高校里山校は、学習指導要領の枠を超えた大胆なカリキュラム編成と、FC 今治のエコシステムを活用した実装型の探究活動に優位性がある。

